

燐たり

四中
学校だより

みがきあう



13限目
10月24日
金

33

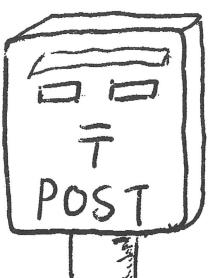
届くはずのない手紙

このクラス学年
学校になるといふ者

生徒のみなさんには、後期の始業式の時に、那須くんや坂口君、浦本君が「何も言われないのに始業式の準備を手伝ってくれたことを紹介して、後期は周りのことに対応して自分のクラスがよかた、クラス替えをしたくないと思えるように動いてほしい」という話をしました。そこで、「損得勘定なしに、周りのために動く」というエピソードを紹介しますね。

ガラパゴス諸島にあるフロアレナ島。ここにある郵便局には、不思議なことがあります。それは…そこにあるポストに、旅行の記念に、と手紙を入れると、どこの国に出ててもきちんと届くのです!! …ん? それどこが不思議なの?? そう、ごく当たり前のことでですね。不思議なのは、「**その郵便局には人がいない!**」ということなんです。郵便局員が時々やってくるといらわけでもなく、まさに無人の郵便局にあるポストだ。ということです。では、なぜそこに出した郵便物がいるんな国に届くのか??

それは、そこに観光に来た人が、自分の国までの郵便物を見たら、国に持て帰り、自分でお金を出して切手をはり、自分の国のポストに入れていこうからです。素晴らしい話ですね! 気づいた人が、「**自分のためでなくとも、相手の喜ぶ顔のために、少しくらい自分が損をしても**(切手代はその人が出します) 行動してくれる。」



もちろん、当事者や相手は、誰がそんなことをしてくれたかなんて、知りません。ボランティアをやってみると、特に感じるのは、「相手のために」とか「喜んでくれるなら」と思ってやったことなのに、1つの間にか自分の喜びになってしまことがあります。こういったことが、クラスの中で「ひんぱんに起こり始めれば、必ずみんなが『このクラスでよかた!!』を感じるようになります。

しかし、そういう人がみんな同じ歩調で「高」していくとは限りません。ほかの人のために動いてくれて13人がいる横で、周りのことを考えずに、自分勝手な行動をとる人もいます。「なんて?」と思うこともあるでしょう。でも考えてみてください。クラスの中には数学が得意で、教えられたらすぐ「解けるようになる人もいれば」、何回も丁寧に教えても、なかなか理解できずに解くのが苦手な人もいるでしょう? 心も同じです。話を聞いたら、すぐに人のことを考えて動けるようになる人もいれば、どうしても理解できずに変わらない人もいるんです。そういうときは、勉強を教えてあげるのと同じように、根気強く、くり返し、「こんなことしたらダメやん」とか、「こがんした方がよかばい」と周りの人たちが教えてあげてください。前に、ミの話をしたと思いますが、「**環境が人を育てます**」クラスの雰囲気がいい方に変わってくれば、必ずそこにいる人も変わできます!! 今年度の残り半分の時間の大切にして、111クラスにみんなでしていきましょう!!

「人にわかるないようにするのが本当の親切」と言いますが、お互いが相手の喜ぶ顔のために動いてくれるようなクラスになると、居心地はいいですね。やめてみましょう!!

先生の言葉は、大人の私が見ても大変勉強になります! 大人になると、節目というものがどこなのか分からなくなります! 大半は、子供の卒業が節目になるのでしょうか? 子供だけでなく、私も「子育てを頑張った!」「仕事と家事の両立を頑張った!」と言える人になっていたいと思います。子供は私が子供の頃よりもはるかに頑張っているように思います! その頑張りを大人になっても続けるように更に頑張ってほしいです。竹のように基盤を硬くまっすぐに、成長していってくれると信じています。)

返信ありがとうございます!!

返信いただけてとても嬉しいです。
本当にありがとうございます!!

